

績麻八兩

右依前件、其縫、席端并績麻宮人者、内侍充之、造作之間并給間食、人別日白米八合、鹽八撮、滓醬一合、四月一日申省受之、

作手八人各日黒米一升六合

〔雅亮裝束抄〕一だいきやうのこと

ゑんざといふは、まねのやうなるもの、まろにて、へりばかりのかはりたるなり、大納言はむらさきのいろのかうらいのもんまたるへり、中納言はうるはしきかうらいのへり、宰相のはきなるかうらいのやうまたるをさして、おもてはまねのやうに、あやをして、うらにはこきうちうらをつけたり、これをゑんざといふなり、

〔類聚名物考〕調度四ゑんざ 圓座和名抄

おもふに、これによりて見れば、圓座をわらふだとよめるはあたらざるに似たり、されども和名抄に、さよみたれば、昔はさありしか、この比にかゝるものいできて、わらふだとはおのづから異なる物となりしも、まねるべからず、さらばすがゑんざといふ物は、この抄○雅亮の装束抄の中にもみゆれば、圓座をわらふだといひしにやあらん、

〔大饗雜事〕一圓座京筵面ニ紙ヲ押ス、上ニ入綿一陪二、陪計中ノ眞ハ京筵一枚、裏面ニ紙ヲ押也、

大納言座 面白堅織物 輪違 裏白生絹 紫錦縁 地白文紫 輪違

中納言料 青錦縁 地黄文青 輪違

參議料 面白堅織物 輪違 裏白生絹 大文高麗縁 地白文黒 輪違

非參木大辨料一枚首書保元非參木座、龍鬚面高麗端座ハ如茵ニ縁ハシタニテ、上ニ白堅織物ノ

面ヲ押タリ、此ハ例ノ疊ナドノ如ニ縁ヲバ差タル也、